

総務教育常任委員会資料

(平成24年1月20日)

〔件名〕

- ・「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について 【東京本部】・・・1
- ・「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」の
実施について 【東京本部】・・・4
- ・関西圏における情報発信について 【関西本部】・・・6
- ・関西経済界と連携した取組について 【関西本部】・・・7
- ・鳥取県産品展示商談会の実施結果等について 【関西本部】・・・8
- ・鳥取県ふるさと納税パートナー企業の募集について
【財源確保推進課】・・・9
- ・県有資産マネジメント方針の策定について
【財源確保推進課、営繕課】・・・10
- ・「差別事象検討小委員会」の設置について【人権・同和対策課】・・・12
- ・宅地建物取引上の人権問題に関する対応について
【人権・同和対策課】・・・13
- ・『鳥取県史ブックレット』第10巻の刊行について【公文書館】・・・14

総 務 部

「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成24年1月20日
東京本部
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」を拠点とした、首都圏における県産品販路開拓の取組み状況について報告します。

1 アンテナショップによる効果（前回常任委員会報告（9月16日）以降～12月末時点）

(1) 販路開拓・拡大

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介した結果、販路開拓に成果。

【取扱決定】

商談相手	商談状況
自然商品を中心に展開するネット通販会社	6社12商品を追加紹介し、取扱いに向けて検討中。
全国の小規模作業所や地域のこだわり商品を中心に展開するネット通販会社	1社2商品（あぶらとり紙）の取扱いが決定。2社6商品（そば、なたね油など）の取扱いについて商談中。
健康食品を中心に展開するネット通販会社	11月に県内を訪問し（11社と商談）、取扱いに向けて商談中。
大手食品卸問屋	1社1商品（するめ糍漬）が三重県内のスーパーで取扱い決定。1社1商品の取扱いに向けて商談中。
三越銀座店	2社3商品（カレー、ビーフシチュー、マグロのカラスミ）の取扱いが決定。

(2) 情報発信

<テレビ・雑誌等での紹介>

- メトロガイド（11月号）、ザガットサーベイ2012東京（11/4）、サンデー毎日（12/10）、早春びあ首都圏版（12/30）、新橋経済新聞（11/23）、ANAホームページ（うっとり鳥取キャンペーン）
- ・11月15日に日本テレビ「news every.」で注目の生姜の商品として紹介された「鳥取瑞穂生姜のコンフェチュール」が、注文殺到の大ヒット

<店舗内催事等による>

- ・延べ11事業者が試食販売などを実施（10～12月）。さらに、3事業者がビーフカレー、自然薯や自然薯を使った加工品等の試食販売を実施予定（1月）
→相対で首都圏の消費者に接し、ニーズ等を把握
- ・境港総合技術高等学校の生徒が、販売実習を実施（12月）
- ・1階物販店舗、2階レストランのオープン以来の延べ利用者数が30万人を達成し、知事から30万人目の利用者に「松葉がに」等をプレゼントするなど、記念セレモニーを実施（11/22）

<店舗外催事による>

首都圏で開催されたイベントにアンテナショップが出店し、県産品をPR販売

【最近の事例】

名 称	期 間	場 所
東京鳥取県人会 総会と懇親の集い	H23. 10. 16 (日)	ホテルグランドパレス（千代田区飯田橋）
アンテナショップフェスティバル	H23. 11. 3 (木・祝)～6 (日)	新潟県アンテナショップ、福井県アンテナショップ（港区南青山）
商店街と地方都市との交流物産展	H23. 11. 9 (水)～10 (木)	新橋駅前SL広場
秋田・鳥取 うまいぞ！ハタハタフェスティバル	H23. 12. 10 (土)～11 (日)	麻布十番商店街

2 県産食材PR試食会の開催について

県内のすぐれた食材のPR等を目的として、首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者を招いて県産食材を使用したメニューの提案・試食を行う「鳥取県産食材PR試食会」を下記のとおり開催しました。

(昨年度から引き続きの取組)

- (1) 日時：10月24日（月）午後2時～5時
- (2) 場所：アンテナショップレストラン
- (3) 招待者：首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者 42名
- (4) 参加食材：17食材、7生産者（販売者）が県内から出席し直接PR

区分	食材名	生産者（販売者）	所在地
肉類	赤豚もも肉、赤豚バラ肉（デュロック種）、鳥取和牛オレイン55ももブロック肉、リブローズ	株式会社はなふさ	鳥取市
魚類	紅ズワイミート（蟹の生たたき）	EGA International Holdings 株式会社	境港市
	東郷池 冷凍しじみ	財団法人ゆりはま温泉公社	湯梨浜町
野菜類	自然薯、自然薯のむかご、じねんめん（自然薯麺）半生	大柄組	日南町
きのこ類	はたけしめじ	日南振興株式会社	日南町
果樹類	いちじく（生果）、乾燥いちじく（ドライいちじく）、いちじく茶	体験農場ナオ	琴浦町
	花御所柿ピューレ、西条柿ピューレ、柿ドレッシング	八頭町商工会 きらめきプラザ八頭	八頭町

※参加食材については募集を行い、決定

(5) 開催概要：

- ・後日、招待したレストランから生産者に対して買い取りの申込みやサンプル依頼の問い合わせが入るなど、販路拡大のきっかけとなった。



30万人達成記念セレモニーの様子



県産食材PR試食会の様子

3 運営状況

<来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高（千円）		来店客数	営業日数	売上高（千円）
うち催事売上高（千円）							
H20.8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
H21.1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
H20.8.29～ H21.3.31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
				うち催事売上高 (千円)			
H21. 4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
H22. 1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4~H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
12月	5,967名	31日	9,060	261	1,736名	27日	6,210
H23. 1月	4,660名	28日	6,616	199	1,050名	18日	3,268
2月	4,759名	28日	6,227	128	1,457名	23日	5,329
3月	4,837名	31日	6,182	110	1,277名	24日	3,696
H22. 4~H23. 3	69,006名	362日	(98.1%) 91,164	2,764	18,545名	293日	(79.6%) 60,283
H23. 4月	6,211名	30日	8,199	68	1,673名	25日	5,272
5月	5,971名	31日	8,126	165	1,431名	23日	4,704
6月	6,616名	30日	8,743	222	1,773名	26日	5,315
7月	6,560名	31日	9,052	147	1,628名	26日	5,262
8月	6,959名	31日	9,582	96	1,870名	27日	6,267
9月	6,783名	30日	10,248	75	1,709名	23日	5,068
10月	7,013名	31日	(132.6%) 10,334	81	1,776名	25日	(129.5%) 5,979
11月	7,461名	30日	(140.2%) 11,905	154	1,683名	24日	(130.9%) 5,864
12月	7,890名	31日	(144.3%) 13,078	97	1,529名	23日	(93.0%) 5,773
H23. 4~H23. 12	61,464名	275日	(123.7%) 89,267	1,105	15,072名	222日	(103.2%) 49,504
合 計	242,019名	1,209日	323,564	6,811	69,086名	977日	235,606

※上段の () 書きは、対前年比

<最近の人気商品>

順位	品 名	販売価格	順位	品 名	販売価格
1位	ブドーパン	(1個入) 150円	4位	とうふちくわ・生	(1本入) 250円
2位	鳥取瑞穂生姜のコンフュチュール	(1個入) 630円	5位	白バラ牛乳	(1,000ml) 365円
3位	ひきわり納豆	(3個入) 130円			

「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗って まんが王国とっとりへ～」の実施について

平成24年1月20日
未 来 戦 略 課
交 通 政 策 課
東 京 本 部

都内・汐留で「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」を開催しますので、その概要を報告します。

1 実施目的

- ・2012年には、本県で「国際マンガサミット」が開催され、「国際まんが博」として漫画やアニメにちなんだ様々なイベントが大々的に展開される予定である。
- ・これに先駆けて「まんが王国とっとり」を首都圏でPRすることにより、本県の認知度を向上させ、上記イベント等への誘客を促進し、県内への航空便の利用増進を図る。
- ・なお、今回のイベントを首都圏における「まんが王国建国イヤー」PRのキックオフイベントと位置づける。

2 実施概要

大企業の本社が立ち並ぶ汐留の一面に本県のPRブースを設置し、「水木しげるロード」等の紹介を通じて「まんが王国とっとり」のPR及び鳥取県への誘客を推進する。

なお、実施にあたっては、全日空と連携して進める。

○時 期：平成24年2月8日（水）～3月7日（水）

- ・2月8日の11時よりオープニングイベントを実施し、知事、ANA関係者等によるテープカット等を行う。

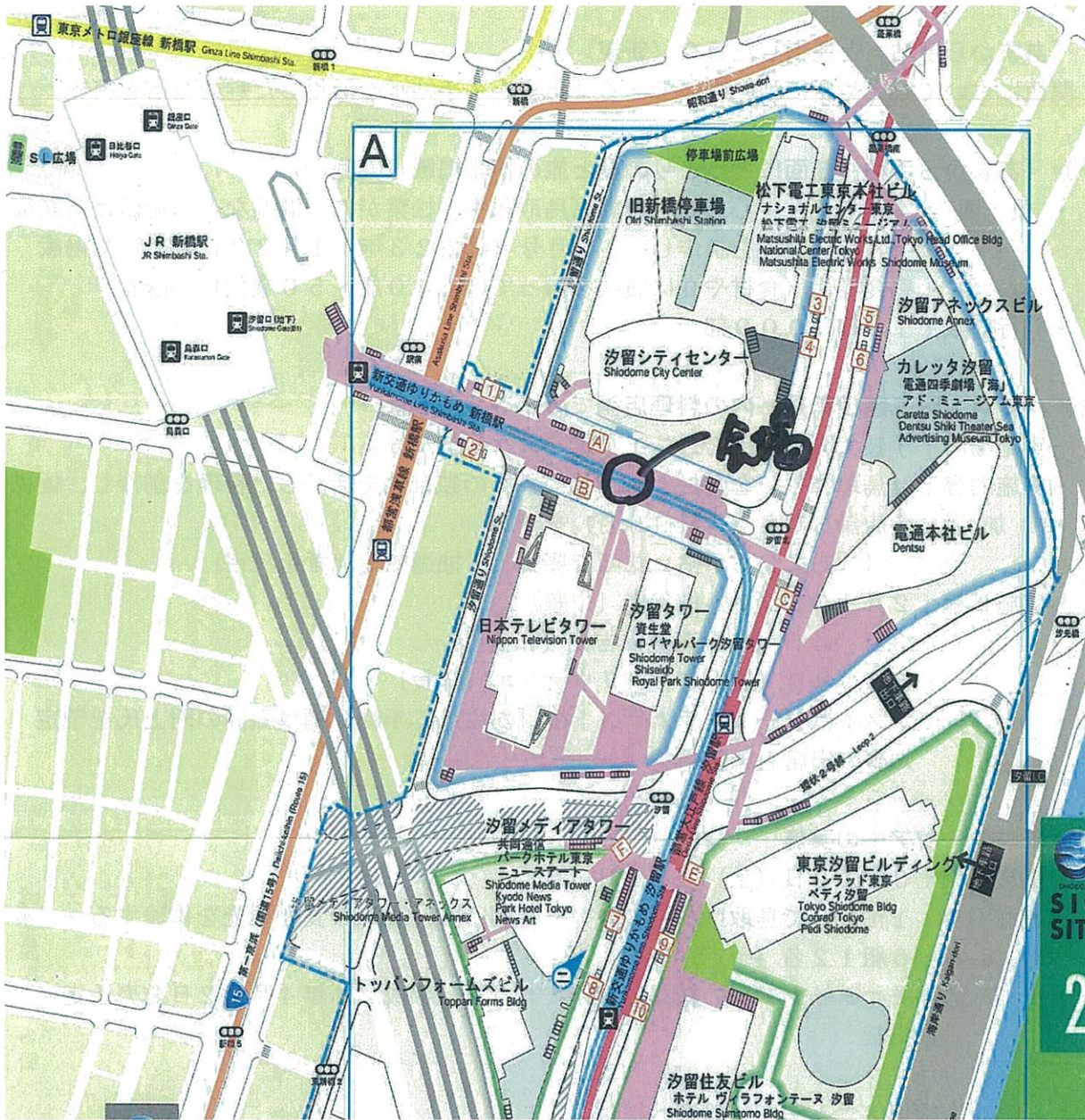
○場 所：汐留SIO-SITE

- ・日本テレビの本社ビルと汐留シティセンタービル(全日空本社が入居)の間の地下歩道にあるイベントスペース。
- ・汐留には日本テレビ、電通等があり情報発信に最適であり、また、アンテナショップにも近いので、連携して物産の販売・PR等も行う。

○PRブースの内容

- ・妖怪像や沿道商店の写真パネルやオブジェを多数配置し、ブース内を回遊して水木しげるロードの雰囲気を楽しみながらクイズに答え、本県の「まんが王国」ぶりを認識してもらう。
- ・物販コーナーにおいて、鳥取県産品の販売・PRを行う。
- ・県内市町村等にも情報提供し、会場でのPRを呼びかける。

〇「水木しげるロード in 汐留 ~ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」の会場



〇「水木しげるロード in 汐留 ~ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」の会場の写真



関西圏における情報発信について

平成24年1月20日

関 西 本 部

● 「あまから手帖」と連携したPR（新規）

関西において観光や食に強い媒体である「あまから手帖」を活用した魅力発信を実施。

（1）「あまから手帖」誌面にとつとりの食と旅の情報掲載（実施済）

- ・ 概 要 : 本県の食を中心とした魅力（鳥取和牛、松葉がに、温泉など）を伝える誌面（8ページ）を制作し、12月号（平成23年11月22日発売）で掲載
- ・ 対 象 : 熟食世代（食材や食に興味を持っている40歳～50歳代）の読者
- ・ 発行部数 : 100,000部

（2）「JR大阪三越伊勢丹」内の料理店舗でのイベント開催

- ・ 実施場所 : JR大阪三越伊勢丹 10階バンケットルーム
- ・ 実施内容 : 「鳥取和牛」を食材とし、且つ各店の独自性を活かした料理を創作し、提供
- ・ 参加者 : 各店舗30名（合計90名）を予定
（「あまから手帖」誌面で募集し、抽選で参加者を決定）
- ・ 実施日程 : 2月 5日（日）桃谷楼〔中華〕
3月 4日（日）高麗橋吉兆〔和食〕
3月18日（日）ビストロヴァリエ〔洋食〕
- ・ 参 考 : ホストはフードコラムニストで「あまから手帖」編集顧問の門上氏を予定
知事の出席も調整中

（3）モニターツアーの実施

- ・ 実施時期 : 3月10日（土）・11日（日）
- ・ 実施内容 : 1泊2日で鳥取県内へのツアーを催行し、鳥取の食と観光を体験する
- ・ 参加者 : 6組12名（予定）
- ・ そ の 他 : モニターツアーの結果について5月号（平成24年4月22日発売予定）で掲載

（4）イベント提供メニューを一般客へ提供

- ・ 実施時期 : 3月24日から30日まで（予定）
- ・ 実施場所 : JR大阪三越伊勢丹 10階 高麗橋吉兆・桃谷楼・ビストロヴァリエ
- ・ 実施内容 : 上記（1）②で提供した料理を広く一般に提供

● 朝日放送「ごきげん！ブランニュ」でPR予定（新規）

番組内の「奥の太道」コーナーにおいて赤井英和氏が、「松尾芭蕉・奥の細道」を彷彿とさせる出で立ちで県内各地を訪れ、地元の方々との触れ合いながら観光スポット・グルメなどを、赤井氏の視点で川柳を詠みながら紹介する。

- ・ 放映期日 : 1月30日（月） 23時17分～24時17分
- ・ 放映時間 : 上記の時間内のうち15分程度
- ・ 放映地域 : 近畿2府4県及び隣接県の一部（関西ローカル）
- ・ PR内容 : 鳥取県の観光地のPR（鳥取砂丘、水木しげるロード、皆生温泉など）
まんが王国とつとり（国際マンガサミット鳥取大会）のPR

関西経済界と連携した取組について

平成24年1月20日
関 西 本 部

関西本部では、鳥取と関西との経済交流をより一層拡大させるため、関西経済界・経済団体等との連携・協力を図りながら、次のような取組を行う。

1 “とっとり” 発バイオセミナーの開催

昨年4月に鳥取大学医学部キャンパス内に新設された「とっとりバイオフロンティア」の施設や取組みを、関西の企業等へ広く周知・PRし、今後、共同研究等連携への取組みの可能性について相互に理解を深めていただくため、関西経済連合会とともにセミナーを開催する。

- (1) 日 時 平成24年2月7日(火) 午後2時～3時半
 - (2) 場 所 中之島センタービル(大阪市北区中之島)
 - (3) 主 催 鳥取県・関西経済連合会 / 共 催 鳥取大学・鳥取県産業振興機構
 - (4) 定 員 関西経済連合会会員企業 等 約180名
 - (5) 内 容
 - ① 「とっとりバイオフロンティア事業について」鳥取県商工労働部
 - ② 「世界最先端の染色体工学技術とその限りない可能性」
鳥取大学大学院医学系研究科 教授 染色体工学研究センター長 押村 光雄
 - ③ 研究・取組の紹介
 - ・「染色体工学技術に係る基盤研究開発」
 - ・「染色体工学技術を用いた医薬品開発支援ツールの開発」
 - ・「染色体工学技術を用いた食品機能性評価に係るシステムの開発と地域機能性食品の評価・商品化」
- ※参加者を対象にした県内視察(とっとりバイオフロンティア等)を3月2日に実施予定。

2 平成23年度「鳥取県サポーターズ企業交流会」の開催

関西から本県に進出している企業の本社・親会社(98社)や関西で活躍される本県ゆかりの経済人に、知事、市町村長等のトップセールスを行うとともに、関西経済界と本県との信頼関係の構築等を図り、経済交流の拡大を推進するため、サポーターズ企業交流会を開催する。

- (1) 日 時 平成24年2月14日(火) 午後4時～7時
- (2) 場 所 大阪マルビル 大阪第一ホテル(大阪市北区梅田1丁目9-20)
- (3) 主 催 鳥取県
- (4) 参 集 約120名(関西の鳥取県進出企業、関西経済団体(関経連・商工会議所等)、鳥取県ゆかりの経済人等、鳥取県、鳥取県内の市町村長、鳥取県内の経済団体等)
- (5) 内 容
 - ① 鳥取県産業施策等のプレゼンテーション(知事)
 - ② 事例紹介・支援施策等プレゼンテーション(進出企業・県関係課・産業支援機関等)
 - ③ 意見交換
 - ④ 交流会

3 その他(鳥取県内視察研修の実施、関西地区ビジネスフェアへの出展)

(1) 鳥取研究会 in 鳥取

- ①概要 関西の塗料・塗装関係企業を中心に構成する会員企業による県内視察研修を実施。
- ②期日 平成24年2月3日(金)～4日(土)

(2) NIKKOフェア

- ①概要 関西の事務機器・文房具などのメーカーが一堂に会する日興商会主催の展示商談会(開催地:尼崎市)に出展し、まんが王国とっとりや鳥取環境大学公立化等のPRと特産品を販売。
- ②期日 平成24年2月2日(木)～3日(金)

(3) ビジネスマッチング商談会

- ①概要 中播磨地域を中心とした中小企業等の優れた技術や製品を一堂に展示する姫路市商工会主催の展示商談会(開催地:姫路市)に出展し、鳥取のPRを実施。
- ②期日 平成24年3月7日(水)

鳥取県産品展示商談会の実施結果等について

平成24年1月20日
関西本部

1 鳥取県産品展示商談会の実施結果

関西本部では、関西での販路拡大機会を希望する県内事業者多数の要望にお応えし、関西において年間を通じた定期的な商談会を本年度から実施し、その4回の結果は以下のとおりである。

(1) 商談会の概要

◇場所 鳥取県関西本部 交流室（大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階）

	日時	テーマ	出展事業者数	来場バイヤー
第1回	5月26日	加工食品（農産、水産、畜産）	21社	66社（134名）
第2回	8月3日	ふるさと認証食品及び水産加工品	12社	52社（87名）
第3回	11月10日	農畜産加工品及び菓子・スイーツ	16社	30社（50名）
第4回	12月7～9日	酒類・飲料及び酒の肴・飯の友	8社	31社（40名）

※第4回は「ふるさとの地酒と銘産品まつり」と同時開催。

(2) 商談の状況（1月中旬）（※関西本部が現時点で確認している状況、延べ社数）

	店舗定番化	業務用通販HP（※）	通販カタログ	関西での鳥取フェア
第1回	10社	6社	9社	13社
第2回	2社	0社	2社	2社
第3回	0社	3社	3社	0社
第4回	0社	0社	1社	0社

※業務用通販HP：小売専門商品注文ホームページ

・標記以外にもバイヤーに見積り提出、サンプル提供等を行い商談が継続中（約50件）。

(3) 商談会の問題点及び良かった点

①問題点

- ・他と差別化を図る商品の展示方法、背景説明等の売り方の工夫が必要である。
- ・流通マージンが価格設定に考慮されていない商品があり、様々な流通形態に対応できない。
- ・コスト管理、生産量、損益分岐点の把握等、自社の販売計画が出来ていない場合がある。

②良かった点（県内事業者の感想）

- ・新規参入の事業者にとっては、素晴らしい企画だと思う。
- ・県内事業者と関西の企業と、お互いにターゲットが絞られているので、商談がしやすい。

(4) 今後の方針

- ・本年度の商談会の改善点を踏まえ、平成24年度も継続して、定期的に商談会を実施する。
- ・県内事業者の商品を関西での販路開拓に耐えうる商品にブラッシュアップする支援を行う。

2 阪急オアシスでの鳥取県産鮮魚の販売について

関西の大手スーパー阪急オアシスの鮮魚コーナーがリニューアルし、鳥取県産魚を中心とした鮮魚コーナーを常設した。県産魚は、鳥取県漁協が境漁、淀江、御来屋、赤碕、泊、賀露、網代から集荷し、阪急オアシスに出荷している。消費者からは、鮮度がよく、品揃えも豊富になったと好評を得ている。

店名	オープン日	場所	備考
守口店	10月22日	守口市佐太東町	—
千里山竹園店	11月12日	吹田市千里山竹園	—
服部西店	12月1日	豊中市服部豊町	—
あべの店	1月13日	大阪市阿倍野区三明町	阪急ファミリーストア

※阪急オアシス箕面店等、オアシス各店に共和産業（株）も鳥取県産鮮魚を販売している。

鳥取県ふるさと納税パートナー企業の募集について

平成24年1月20日

財源確保推進課

ふるさと納税のさらなる寄附促進と県産品等のPRや販売促進等につながるよう、寄附者へ贈るお礼の品の拡充を図るため、今年度より設定した「鳥取県ふるさと納税パートナー企業」について、平成24年度にお礼の品を提供していただくパートナー企業を下記のとおり募集する。

1 募集にあたっての基本方針

(1) 提供していただくお礼の品

鳥取県内で製造されている商品、栽培等されている農林水産物、県内施設でのサービス等で本県の魅力を体感できるもの

(2) お礼の品の価格

区 分	お礼の品の価格	備 考
寄附金1万円以上 ～5万円未満	7,000円相当 ①	※県の負担は今年度と同様
寄附金5万円以上	14,000円相当 ②	同 上

(3) 募集期間

平成24年1月25日～2月29日（期限後も随時募集）

(4) 募集の周知方法

ホームページやチラシのほか経済団体や金融機関等を通じて周知を図る。

2 今年度のパートナー企業の状況

① 7,000円相当のお礼の品 … 31品目（企業数30社）

② 14,000円相当のお礼の品 … 5品目（企業数 5社）

農産物等 … 奥日野こしひかり、二十世紀梨カレー、野菜ジュース等
酒 類 … 地酒、地ビール、ワイン、焼酎等
肉 類 … 鳥取和牛オレイン55、豚肉、ハム、ウインナー等
海産物等 … 松葉ガニ（期間限定）、とうふ・あご竹輪、あご入りだし等
お菓子類 … 自家牧場卵のスイーツ、県内産牛乳のアイスクリーム等
そ の 他 … 岩美町網代にこだわったグッズ、アンテナショップ利用券等

【参考】本年度のふるさと納税による寄附受入実績

区 分	平成22年度		平成23年度（12/31現在）		
	件数	金額	件数	金額	対前年度
県	364件	863万円	627件	1,260万円	146.0%
市町村	3,924件	10,186万円	4,443件	9,345万円	91.7%
計	4,288件	11,049万円	5,070件	10,605万円	96.0%

〔県における今年度の重点的取組〕

- 県立高校との連携を強化し、同窓会報へパンフレットを同封（6校：約19,000部）
- これまでの寄附者への依頼文書送付（約400名：前年度実績報告書の送付と併せて依頼）
- 課長級以上職員による依頼文書の送付（約180名）

県有資産マネジメント方針の策定について

平成24年1月20日
財源確保推進課
営 繕 課

1 策定の目的

本県は、地方交付税の大幅な増額も見込めない中で、依然として景気が好転しないことによる県税収入の低迷や、引き続き高水準にある公債費負担、社会保険費など削減が困難な経費の増加等のため、厳しい財政状況にある。

このため、県の保有する土地・建物について、戦略的かつ適正に管理・活用するマネジメント方針を定め、歳出削減や歳入確保を行っていく。

※県有資産マネジメント方針が対象とする土地・建物(道路、河川、港湾など特別法に係る資産を除く)

区分	財産数	面積(建物は延床面積)
土地	823	4,187万平方メートル(県土面積の約1.2%、日吉津村の約10倍)
建物	3,838	145万平方メートル

2 方針の内容(H24.1策定):詳細は「とりネット」で公表

区分	取組方針	H24~H28の取組による 目指す財政効果	方針を具現化するための アクション (H24~)
保有総量の縮小	○未利用・低利用資産の洗い出しと売却促進 ○職員宿舍の順次縮小 →廃止宿舍の売却	財産売却収入増	(最大) 約32億円 〈県有資産マネジメント推進委員会の開催〉 ①未利用・低利用資産アセスメント調査 ・サマーレビューや事業棚卸しをはじめとした組織見直しにより生ずる未利用、低利用資産を把握
効率的な利用	○倉庫スペースの利用調整 →未利用資産を生み出し売却 ○行政財産貸付制度導入	財産売却収入増 貸付料収入増	(最大) 約3億円 ②県有資産情報共有データベース ・未利用、低利用資産の情報をデータベースで管理し、部局を越えて情報共有 ③県有資産マネジメント推進委員会 ・認識を共有化 新たな売却・貸付資産を生み出し財源確保
建築物の長寿命化	○計画的な修繕・改修による更新時期見直し ○改修・改築時における省エネ対策の実施 ○改築時における施設規模の適正化	歳出削減・財政負担の平準化	約15億円 〔25年間累計 262億円〕 〈中長期保全計画の推進〉 ①各施設ごとの中長期保全計画作成 ②施設台帳データベースの整備 ・各施設の情報、中長期保全計画を管理 ③中長期保全計画に基づいた施設整備の実施 建物のライフサイクルコスト(生涯経費)節減
計			約50億円

(この方針は、状況変化等に応じて、今後も3年程度をめぐりに見直しを行っていく。)

3 方針の策定経緯

区分	構成メンバー	概要	
県有資産 マネジメント 検討委員会	財源確保推進課 営繕課 各部局主幹課 各総合事務所 外部見識者	H22. 8～計5回開催 ※基礎データを収集し現地確認を行いつつ実態を踏まえ方針を策定	H22. 8 第1回検討委員会 ・取組の方向性と基礎データの収集について検討 ・県有資産情報共有データベースの立ち上げ
			H22. 12 第2回検討委員会 ・県有資産マネジメントの骨子と今後の進め方について決定 …… 基礎データの収集、現地確認、課題の整理等 ……
			H23. 8 第3回検討委員会 ・県有施設マネジメント方針(試案)の検討
			H23. 11 第4回検討委員会 ・県有資産マネジメント方針(案)の検討
			H24. 1 第5回検討委員会 ・県有資産マネジメント方針(案)の決定
県有施設 中長期保全 計画協議会	営繕課 財源確保推進課 文化政策課 外部見識者	H23. 6～計3回開催 ※外部見識者の意見に基づき県有施設の所要経費を試算しつつ方針を策定	H23. 6 第1回協議会 ・県有施設保全計画方針案の検討
			H23. 10 第2回協議会 ・県有施設保全計画(案)の検討
			H23. 12 第3回協議会 ・県有施設保全計画、県有施設の中長期保全計画作成指針の決定

「差別事象検討小委員会」の設置について

平成24年1月20日
人権・同和対策課

差別事象への対応の検討をより一層進めるため、従来の差別事象検討会を改組し、鳥取県人権尊重の社会づくり協議会の小委員会として、差別事象検討小委員会を設置しました。併せて、同小委員会の第1回会議を、平成24年1月16日（月）に開催しましたので、報告します。

1 小委員会の特徴

- ①目的：鳥取県内で発生した同和問題など人権に係る差別事象の正確な実態把握と原因や背景の分析及び対応策並びに今後の効果的な啓発方法の検討を行う。
- ②位置づけ：人権課題について広くかつ専門的に議論いただいている鳥取県人権尊重の社会づくり協議会（審議会）の小委員会と位置づける。
- ③委員：近年の新たな人権問題であるインターネット上の人権問題に詳しい委員や、現場に密着した法律家、活動の実践者や有識者で構成するとともに、活動に機動性を持たせるため、26名の協議会委員のうちの一部（7名）の委員で組織する。
- ④その他：検討結果を上部の組織である協議会へ報告する。

2 委員名簿

氏名	分野	所属団体・職名
アベ山田 マリア ルイサ	外国人	鳥取県国際交流財団 理事
一盛 真	学識経験者	鳥取大学 准教授
射場 守夫	法律	弁護士
今度 珠美	インターネット	鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員
下吉 真二	同和問題	部落解放同盟鳥取県連合会 前書記次長
出垣 仁志	労働、福祉	社会保険労務士、社会福祉士
中永 廣樹	教育	前 鳥取県教育長

7名：（50音順）

3 第1回差別事象検討小委員会の概要

○平成24年1月16日（月）13：30～15：30

○主な意見、まとめ

- ・差別事象については、次回、より具体的に内容を検討する。
- ・インターネット上の人権侵害について、当面は啓発手法の工夫などにより、具体的対応を進めることが大切。法的なことは次回整理することとする。
- ・インターネット上の差別落書きについて対応指針がないので、検討すべきではないか。指針の検討に当たっては教育現場の意見も聞くことが必要。様々な差別があるので、部落差別に限定しない検討も必要ではないか。

宅地建物取引上の人権問題に関する対応について

平成24年1月20日
人権・同和対策課

県では、昨年6月に策定した「宅地建物取引上の人権問題に関する鳥取県行動指針（アクションプログラム）」に基づき、市町村や隣保館、宅地建物取引業者の皆様の協力を得て、この問題の解決に向けた取り組みを進めていますので、その概要を報告します。

1 啓発用資料等の作成等

- ・啓発用パンフレット「宅地建物取引と人権」の作成（H23.12月末） 【別添参照】
- ・啓発用DVDの購入（H23.7月）、一般貸出（人権ひろば21（人権文化センター内）で貸出）
- ・パンフレット、DVDの研修会等での活用
- ・ステッカー「鳥取県指定人権研修受講済証」の作成・交付

2 啓発事業の実施

- ・土地差別問題をテーマとした人権問題講演会の実施（東部 H23.7.14 西部 H23.11.16）
- ・市町村や企業団体での各種研修
- ・県政だより（H23.7月号、H24.2月号予定）、人権啓発ラジオ（7月に2回）での啓発

3 実態把握の実施

- ・鳥取県人権意識調査結果の活用、施策への反映を検討
- ・宅地建物取引上の差別事象への対応
- ・宅地建物取引上の人権問題に関するアンケート調査（H23.8月末に県内隣保館を対象に実施）
- ・隣保館訪問調査（H23.9～11月に17館）

4 宅地建物取引業団体との連携・協力

- ・「自主行動基準」（仮称）の策定要請、策定・運用に対する支援
※自主行動基準とは… 宅建業者が関係法令等を遵守することに加え、法令等の定めのない事項（人権尊重、モラルの向上等）について自主的に定めた行動基準
- ・業界団体へ人権問題に係る指導者養成の要請
- ・宅地建物取引業の研修会等での啓発（宅建主任者講習会 年2回、業者研修会 延4回）

参考：宅地建物取引上の人権問題とは

○入居差別

賃貸住宅などへの入居の際、障がい者、高齢者、外国人、ひとり親家庭などを理由に入居を断ること。

○土地差別

平成19年度以降、大都市でマンション建設に当たって建設業者から建設候補地の地域評価などの調査委託を受けた調査会社に対して、周辺の宅地建物取引業者が同和地区のエリアなどの情報を提供していたことが発覚した。

さらに調査会社が建設業者への報告書の中で、同和地区等を「不人気エリア」「敬遠されるエリア」などの差別的な記載をしていたことが明らかになった。

鳥取県内においても、市役所や役場などへ「〇〇地区が同和地区かどうか」を問い合わせた事案が報告されている。

『鳥取県史ブックレット』第10巻の刊行について

平成24年1月20日
公文書館

県史編さん室では、新鳥取県史編さん事業の成果を県民にわかりやすく伝えることを目的に『鳥取県史ブックレット』を刊行しています。
このたび、第10巻を刊行しました。

1 書籍名

(1) 『鳥取県史ブックレット10 鳥取藩の参勤交代』

(内容)

徳川幕府の重要政策として、小学校の社会科の教科書にも採り上げられる参勤交代。鳥取藩でも、藩主は一年おきに鳥取と江戸を往復しました。本書は、藩の記録に加え、参勤交代にお供した藩士の文書や、宿泊した宿場の文書などをもとに、多角的な視点から鳥取藩の参勤交代の全体像を明らかにするものです。

2 体裁・価格 A5判 118頁
1冊500円

3 頒布方法 以下の窓口で頒布しています。

- ・公文書館
- ・県民課（本庁舎1階）
- ・東部・八頭・中部・西部・日野各総合事務所県民局
- ・今井書店（鳥取駅前店、吉成店、湖山店、倉吉今井書店、パープルタウン店、本の学校今井ブックセンター、錦町店）
- ・食のみやこととりプラザ（東京都港区）

* 県外の方、そのほか窓口等で購入することが困難な方には当館から直接送付させていただきます。

4 既刊

- 第1巻『織田 vs 毛利—鳥取をめぐる攻防—』
- 第2巻『鳥取県の無らい県運動—ハンセン病の近代史—』
- 第3巻『明治時代の消費生活—郡是・村是資料にみる鳥取の家計と食—』
- 第4巻『尼子氏と戦国時代の鳥取』
- 第5巻『江戸時代の鳥取と朝鮮』
- 第6巻『子どもと地域社会—鳥取の民俗再発見—』
- 第7巻『満蒙開拓と鳥取県—大陸への遙かな夢—』
- 第8巻『古代因幡の豪族と采女』
- 第9巻『里海と弓浜半島の暮らし—中海における肥料藻と採集用具—』